



神奈川県議会議員 よしなか  
**おざわ良央**

[令和5年9月県議会]  
**委員長報告**

# 防災警察常任委員会

県議会『防災警察常任委員会』の常任委員長に就任して半年。この委員会の概要と、去る9月の定例県議会での、おざわ良央委員長の活動と、県当局からの報告事項及び委員会質疑の一部をご紹介します、ご報告とさせていただきます。



所管の、くらし安全防災局と警察本部からの常任委員会への報告概要は下記の通りです。

## I 新たな総合計画骨子(案)

2040年頃には、県の高齢者数と高齢化率はピークとなり、逆に総人口は900万人を下回る。社会的に潜在する課題に対処するため、現在の「基本構想」を見直し、新たな「実施計画」を策定するため、新総合計画骨子(案)を作成する。

①目標年次 **2040年(令和22年)**

②神奈川の将来像…誰もが安心してくらすせるやさしい神奈川  
自らの力を発揮して活躍できる神奈川  
変化に対応し持続的に発展する神奈川

## II 神奈川県地域防災計画(地震・風水害等災害対策計画)の修正

本年3月に改訂された水防災戦略を反映、防災基本計画に「流域治水」への取組みや「富士山火山避難計画」の改定等を追記する。

## III 県有施設の避難訓練の実施状況

## IV 電動キックボード等の新たなルールに係る取組状況

## V 神奈川県犯罪被害者等支援推進計画の改定

以上が報告され、委員会で次のような質疑応答がありました。

### 質問 県警察の犯罪被害者支援と支援推進計画の改訂について

神奈川県では「犯罪被害者等支援条例」を平成21年に制定、官・民の運営で「犯罪被害者サポートステーション」を全国に先駆けて開設、警察を中心に被害者等を支援する体制がとられているがその取組みを問う。

**警務部** 被害者支援室を設け、各警察署等の2200人を支援要員に指定、警察本部と各署が一体の体制を構築、被害者やそのご家族等へ、情報提供や、精神的被害の回復支援、経済的負担軽減への支援等を実施しております。

**要望** 犯罪被害者の経済的支援のあり方について、重要な課題として検討を進めるよう求めます。

### 質問 高齢運転者等の支援について

高齢者講習と認知機能検査講習の待ち時間の短縮と、病気や障害を有する運転者への県警察の取組みを問う。

**交通部** 運転免許センターや県内40ヶ所の自動車教習所等で実施、現在も会場増設への取組み中。また県内29市町村と「運転免許を失った高齢者の相談支援協定」を締結、今後の生活相談支援希望者へ、市町村の福祉部門への紹介等を行っています。尚、運転免許センターでは、安全運転相談窓口及び相談ダイヤルを開設、医療系専門職員の作業療法士と警察官が個別に対応しております。

**要望** 運転免許センターから遠方の県西地域等にも新たなセンターの設置等、利便性の向上を求めます。

(※紙数の関係で自民党委員の質疑のみ)